

臨床研究実施のお知らせ

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 救急科では、文部科学省、厚生労働省および経済産業省が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、以下の臨床研究を実施します。

この研究への参加を希望されない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。ご連絡いただいた方について、研究不参加とさせていただきます。研究に参加されなくても、診療への支障などを含め、いかなる不利益もありません。

■研究課題名

院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築に関する研究
(JAAM多施設共同院外心停止レジストリ)

■研究の意義・目的・方法

本邦では年間7万人を超える心臓突然死が発生している。病院前救急医療の発展により、院外心停止例の社会復帰率は改善しているが、未だに8%程度と非常に低い。更なる社会復帰率向上のために、病院到着後の集中治療の効果が期待されるが、その治療実態と効果は明らかでなく効果的な治療法、適切な搬送先選定基準は確立されていない。本研究では、院外心停止例の搬送先病院の治療体制及び、低体温療法などの病院到着後の集中治療に関するデータを全国で前向きに登録・分析し、『搬送先病院の選定基準、有効な集中治療など院外心停止の社会復帰率を向上させるための治療ストラテジを検討すること』を目的とする。

■研究の期間

研究実施承認日から 継続して随時更新いたします

■研究の対象となる方

当院外で発症した心停止で当院に救急搬送となり、蘇生処置を受けられた方

■ご協力いただく内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報(例;病院前情報、病歴、血液検査データ等)を、研究に使用させていただきます。使用に際しては研究計画書に定めた方法に従って、個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。)

■研究組織

研究代表機関 京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター 石見 拓
共同研究機関 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 入澤 太郎
東北大学大学院医学系研究科総合地域医療研修センター 遠藤 智之
(他)

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独自性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくか、文書でお渡しすることができます。希望される方は、記載の問い合わせ先にご連絡ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたあなたの情報は、当院の規定に則った形でご覧頂くこともできます。希望される方は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

■利益相反に関して

利益相反に関しては、NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告を行い、その指示を受けて適切に管理しております。

■当機関の研究責任者：

(所属)【国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 救急科 医師】
(氏名)【山本 真貴子】

■当機関での問い合わせ先

機関名 【国立国際医療研究センター病院 】
住所 【東京都新宿区戸山1-21-1 】
電話 【03-3202-7181(代表)】
担当部署 【救急科 】
担当者氏名 【山本 真貴子 】
メールアドレス 【 makiyamamoto@hosp.ncgm.go.jp】

本文書のコピー(印刷)をお渡しできます。希望される方は上記までご連絡ください。